

第97回教育課程小委員会議事録

1 日時・場所

2024年9月25日（水） 17:02-18:26 オンライン会議

2 参加者（以降、敬称略）

（地学）市川、飯田和也、岩田、田口、根本、畠山、南島、宮嶋、横山、渡邊

（地理）秋本、高橋、中山

（オブザーバー）阿部、林

3 協議

（1）今期委員の確定について

- ・小委員会の委員選出区分や人選に関し、委員会設立以来の経緯について説明がなされた。
- ・現時点で退任2名、継続可否の照会中の委員が数名おり、早急にメンバーを確定する。

（2）次年度パブリックセッションについて

- ・この2年間継続してきた内容について次年度も展開し、完結することを確認した。
- ・本小委員会からコンビーナとして根本委員及び高橋委員に打診することを確認した。

（3）今後の小委員会の活動について

これまでの小委員会の活動の歴史について宮嶋前委員長から説明があり、今後の活動として地学基礎の重要語の統一、次期学習指導要領改訂に向けた対応が考えられると提起があった。その後、下記のような取り組みの観点が話題となった。

- ・学習指導要領改訂に向けた対応では、先行して取り組んでいる地理系から情報提供を受け、学習する必要がある。
- ・過去は理数系学会教育連絡会から学習指導要領改訂に関する情報収集ができたが、現在では、理数系学会教育連絡会は機能しておらず、再設立に向けた取り組みが必要な状況である。
- ・過去は、文科省の教科調査官等と繋がりを持ち、情報収集を行ってきたが、改めてそのような関係を構築する必要がある。
- ・小中学校では教育課程実施状況調査が終了し、次期学習指導要領での改善点について議論がなされている。学習指導要領は小中高で一貫とした流れとなるため、既に次期学習指導要領の改訂の方向性は出ているものと考えられる。高校の内容について何かを提言しようとしたら、12月一杯に文科省に上げる必要がある。
- ・教員養成WGでは、教科書の地学の内容について、教えるべき内容について提言を行う取り組みを行う予定だが、教育課程小委員会との棲み分けや協力体制の確認が必要である。
- ・現学習指導要領ではカリキュラムマネジメントの考え方が提起されたが、教科・科目間での内容の整理はついていない。地理と地学の内容のカリキュラムマネジメントを提言する必要がある。

上記のような議論から、小委員会正副委員長、教育検討委員会委員長とで早急に打合せを持ち、今後の方針を策定することを確認した。

4 次回小委員会

できるだけ早くに次回委員会を開催することを確認した。